

令和 5 年 7 月 13 日

(件名)

第 1 回静岡県大井川広域水道企業団施設更新実施計画審議委員会の議題

静岡県大井川広域水道企業団

1 進行

第 1 回の静岡県大井川広域水道企業団施設更新実施計画審議委員会（以下、「審議委員会」という。）は、施設更新実施計画（以下、「実施計画」という。）の素案を説明した後、議題を基に審議する。

2 議題

実施計画は、推進目標を「環境変化を考慮した、合理的で実現可能な実施計画を策定する」としており、これを実現するため、水道水の安定供給を確保した上で、新たに更新事業費縮減に係る課題について検討を進めてきた。

このことから、本審議委員会は、上記の課題を議題として審議することで、計画の妥当性を評価していくこととする。議題と審議内容は、表のとおり。

表 議題と審議内容

議題	審議内容	備考
①安定供給の確保	更新に伴い変化する送水に対して、安定供給を確保する	第 1 回審議会の議題
②現実的で合理的なルート選定	より妥当性が高く、効率の良いルートを選定する	
③施設規模の適正化	将来の計画水量減少に対して適正な施設規模とする	
④更新事業費の縮減	施設更新修正基本計画に対して、事業費縮減を検討する	
⑤財政計画	長期的な財源の確保と収支の見直しをする	第 2 回審議会の議題予定
⑥事業の実施効果と策定後の進め方	実施計画の妥当性を評価し、策定後の留意点を取りまとめる	

3 第 1 回審議委員会の議題と具体的な審議内容

第 1 回審議委員会は、表の議題から、「①安定供給の確保」、「②現実的で合理的なルート選定」、「③施設規模の適正化」、「④更新事業費の縮減」を議題とする。議題に対して具体的な審議内容は以下のとおりとなる。

①安定供給の確保

各更新段階（第 1 段階～第 9 段階）の解析モデルを作成し、水理的に送水可能であるか検証したこと。⇒概要版 P. 16～18

②現実的で合理的なルート選定

修正基本計画の更新ルートを基に、改善点を洗い出し、施工性及び効率性が向上するようルートの見直しや既設トンネル空間の活用等を検討したこと。⇒概要版 P. 9～10

③施設規模の適正化

将来の計画水量のうち、更新時期の計画水量を施設規模（更新に伴う計画水量）とすることで、更新管路や浄水場更新の規模をダウンサイジングしたこと。⇒概要版 P. 11～12

④更新事業費の縮減

事業費が増大した内容を重点的に検討した。検討内容は「浄水場の更新方法」と「更新後の既設管の有効活用」を実施した。⇒概要版 P. 9、1